

以下は、アビリンピックおおさか 2025 における競技課題の様子を知る

ために参考として公開するものです。

実際の課題ではありませんのでご注意ください。

ビルクリーニング競技参考課題

◎一般的な注意事項

[共通事項]

1. アビリンピックおおさか 2024 では、2 つの課題を行います。
課題1 カーペット床清掃（掃除機による吸塵作業） 7分
課題2 弾性床清掃（拭き、掃き及び机上清掃） 10分
2. 課題は、時間が定められており、課題1は7分、課題2は10分で打ち切りとなります。
3. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
4. 競技は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間等から審査します。
5. 作業に適した服装をしてください。
6. 作業開始の指示は審査委員が行います。
7. 作業ごとに入退室を行う際には会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。
8. 「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。声をだすことが困難な場合は、拳手のみで構いません。
9. 課題1は残り2分、課題2は残り3分で合図を出し、規定時間を超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は、審査委員の指示に従ってください。

[競技課題]

◎課題1：カーペット床清掃

1. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画します。
2. 繊維系カーペット床の吸塵作業です。
3. 床のゴミは、シュレッダーで裁断したものを50mℓ程度をまいたものとします。
4. 幅木の上は壁があるものとして作業を行ってください。
5. 作業場所にある机は、移動させないでください。
6. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎課題2：弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画します。
2. 床材質は塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
3. 作業は床面の除塵・床面の掃き・拭き・ゴミ処理作業及び机上拭きの作業です。
4. 作業に使用する様々な資機材・消耗品は、作業用カートに載せてあるものを点検してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用ダスタークロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「おがくず」とし50mℓ程度をまいたものとします。

8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎ 資機材一覧表

1. 各競技場に準備されているもの

課題1

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業掲示板		1 個	
真空掃除機	ポット型 リンレイRDエコ2型	1 台	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	
ゴミ箱	角型	1 個	

課題2

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
作業掲示板		1 個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本	
ラグ（モップ房）	260g 白色	1 枚	
小型ぼうき	30cm 幅用	1 本	
乾式モップヘッド	63cm	1 枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個	
タオル	無地 水拭き用（青色）1枚、 から拭き用（白色）1枚	2 枚	
ダスタークロス	69cm 幅の不織布	1 枚	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1 枚	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	
ゴミ箱	角型	1 個	

1. 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着（上・下）		1 着	
作業帽又は三角巾		1 個	
作業靴		1 足	

（注意）持参するものは上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃 《時間：7分 作業仕様》

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は、資機材一覧表を参照のこと) ウォンド・吸込口は、事前にホースにセットしてある。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 作業掲示板は既に所定の位置に立ててある。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	審査委員の始めの合図で所定の位置に立ち「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、一礼する。	「始めます」と作業開始を申告する。 発声困難な場合は拳手のみで可
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	吸込口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼し、挨拶し、入室する。	発声困難な場合は一礼のみで可。
除塵作業 (真空掃除機)	① まず外側から、入口付近を吸塵した後、作業場所へ入る。 ② 入口より奥に向かって右幅木側・中央部・机の下へと順に作業を行う。 ③ ゴミ箱を移動して吸塵する。 ④ イスを手前に引き出し、机の下の吸塵を行い、イスを元に戻す。 ⑤ 前進しながら吸塵作業する。 ⑥ 作業が終了したら掃除機を室内から出してプラグを抜く。	入口のゴミを踏まないように足場を確保する。 吸込口を床に強く押し付けない。 椅子を手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。 掃除機本体は手で持って移動する。 プラグを持って抜く。	ゴミはシュレッダーで裁断したものの50ml程度を均等にまいてある。 コードをひっぱって抜かないこと。
点検	指差し及び目視点検を行う。	ゴミの取残しがないか点検をし、あれば処置をする。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼し、挨拶を行う。	発声困難な場合は一礼のみで可。
資機材の片付け	掃除機のコードを巻いて、掃除機を保管場所に戻す。		
終了の挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	発声困難な場合は拳手のみで可。

課題2 弾性床清掃及び机上清掃《時間：10分 作業仕様1-1》

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<p>作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。</p> <p>(必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと)</p> <p>①柄の長さを調整する。</p> <p>②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。</p> <p>③①、②は事前に準備する。</p>	<p>資機材が過不足無く準備されているか点検し異常があれば申し出る。</p> <p>柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。</p>	<p>資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。</p>
競技開始の挨拶	<p>審査委員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。</p>	<p>片手をあげ、一礼する。</p>	<p>「始めます」と作業開始を申告する。発声困難な場合は拳手のみで可。</p>
作業準備	<p>①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。</p> <p>②所定の位置作業標示板を立てる。</p>		
入室の挨拶	<p>入りぐちで室内に向かい入室の挨拶を行う。</p>	<p>「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。</p>	<p>発声困難な場合は一礼のみで可。</p>
<p>イス上げとゴミ処理</p> <p>(1)イスを上げる</p> <p>(2)ゴミ回収</p> <p>(3)ゴミ袋のセット</p>	<p>①作業前にイスを机の上にあげる。</p> <p>②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。</p> <p>③ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。</p> <p>④ゴミ袋のスペア袋をゴミ箱にセットする。</p> <p>⑤ゴミ箱を机の上に上げる。</p>	<p>机は動かさない。</p> <p>イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。</p> <p>ビニール袋を正しくセットする。</p> <p>ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。</p>	

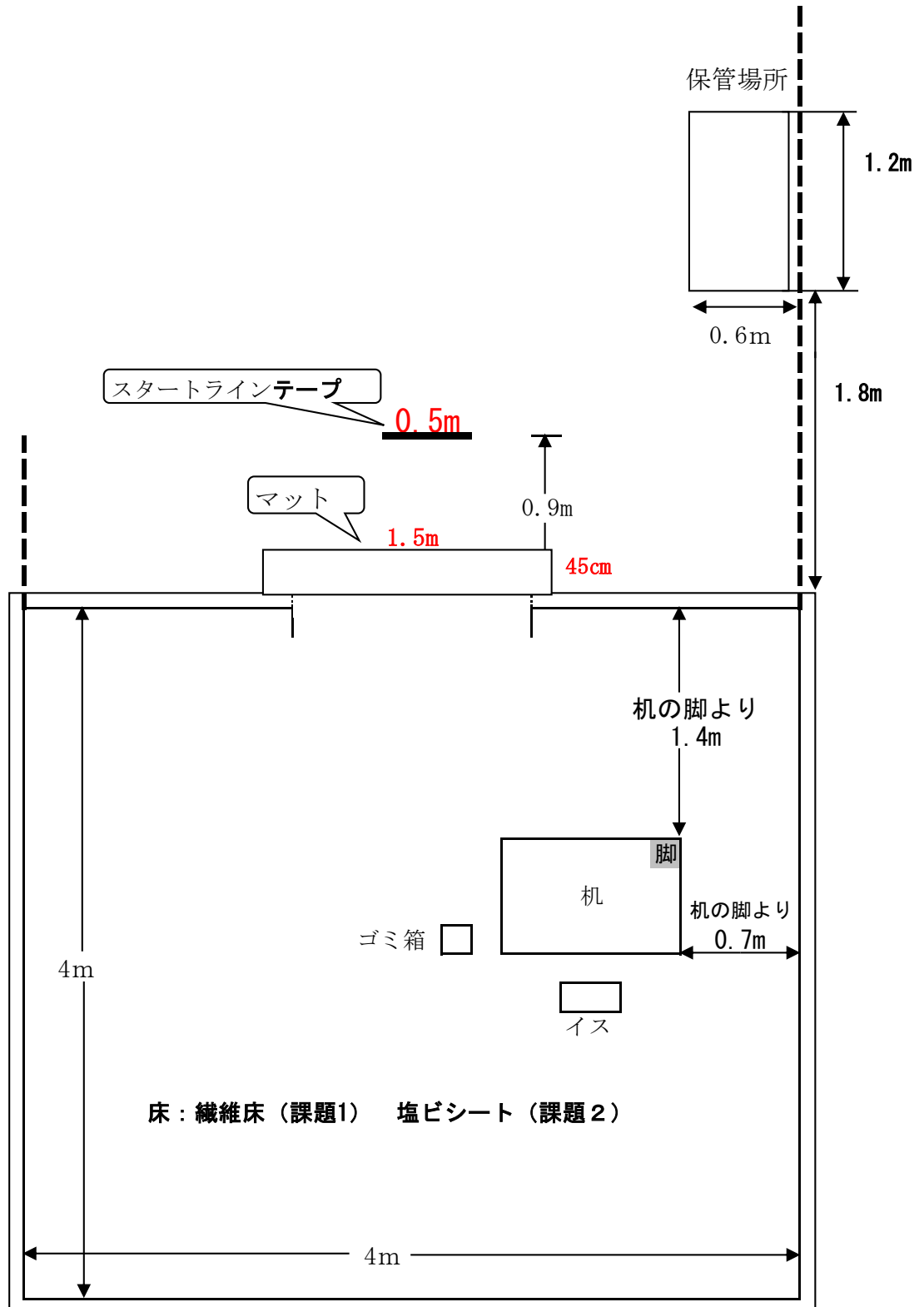
<p>除塵作業 (乾式モップ)</p>	<p>①乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入口を除塵し、作業場所へ入る。</p> <p>②入口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。</p> <p>③前進しながら出口に向かって1箇所を集める。</p> <p>④ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑤使用済みのダスタークロスを手から外す。</p> <p>⑥柄とヘッドをカートに戻す。</p> <p>⑦小型ぼうきと文化ちり取りを持って集めたゴミをとる。</p> <p>⑧ゴミの取り残しがないか点検する。</p> <p>⑨小型ぼうき、文化ちり取りをカートに収める。</p>	<p>ゴミを踏まないように足場を確保する。</p> <p>ヘッドの辺は広い方を先行させる(赤印をつけてある)。</p> <p>ヘッドを床から離さない。</p> <p>使用済みダスタークロスはカートの袋の中に入れる。</p> <p>ヘッドは、カート上部の所定の位置に置く。</p> <p>ヘッドはスポンジ面を上にして置く。</p> <p>ゴミの取り残しがあれば小型ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。</p>	<p>ゴミはおがくずを50mℓ程度を均等に撒いている。</p> <p>点検の際に声をださないこと。</p>
-------------------------	--	--	---

《時間：10分 作業仕様1-2》

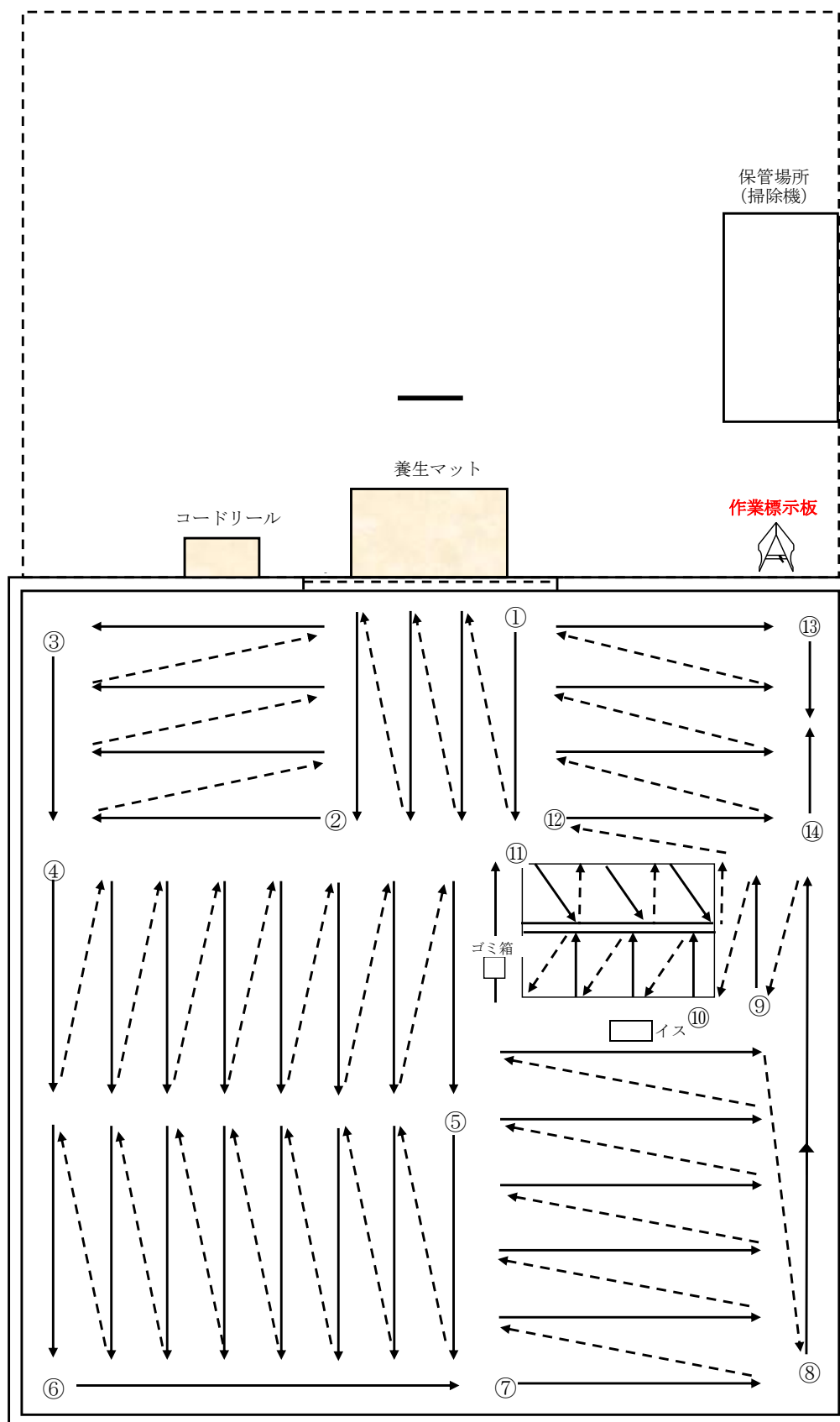
作業工程	作業方法	補足事項	備考
<p>水拭き作業 (モップ)</p>	<p>①コート全面積を拭く。</p> <p>②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。</p> <p>③コーナー周りと机の足元は房系に手を添えて拭く。</p> <p>④モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</p>	<p>拭き残し、拭きむらのないようにする。</p> <p>横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。</p> <p>幅木、机の脚部に触れないようにする。</p> <p>拭いたところを踏まないようにする。</p>	
<p>ゴミ箱とイスを下ろす</p>	<p>安全に音を立てないように下ろす。</p>	<p>足のう上に落とさないように注意する。</p>	

<p>机上拭き</p>	<p>① 青色のタオルを八折にして持つ。</p> <p>② 机の縁を含めて、四隅から中央へと行う。</p> <p>③ タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。</p> <p>④ 横拭き・縦拭きを行う。</p> <p>⑤ 机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。</p> <p>⑥ 水拭きと同様に作業を行う。</p>	<p>拭き残し、拭きむらのないようにする。</p>	
<p>点検</p>	<p>指差し及び目視点検を行う。</p>	<p>資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。</p>	<p>点検の際に声をださないこと。</p>
<p>退室の挨拶</p>	<p>出口で室内に向かって退室の挨拶を行う。</p>	<p>「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。</p>	<p>発声困難な場合は一礼のみで可。</p>
<p>資機材の片付け</p>	<p>作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを所定の位置に戻す。</p>		
<p>終了の挨拶</p>	<p>所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。</p>	<p>「終わりました」等の意思表示を行う。</p>	<p>発声困難な場合は挙手のみで可</p>

標準配置図(モデル)



カーペット床作業手順



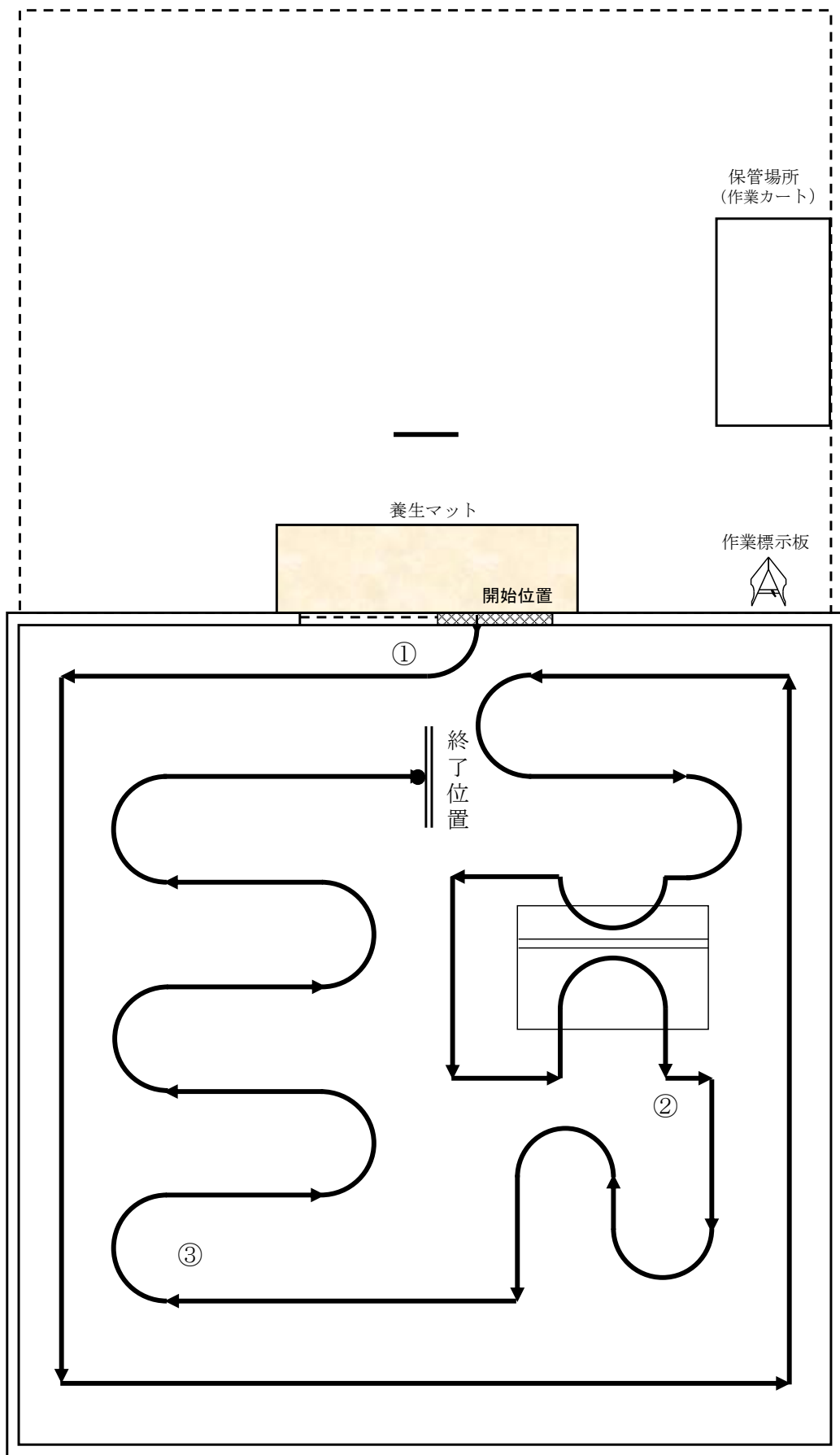
注：作業の進行①～⑭

吸引回数を入れたものではありません。

①の作業を一回の行程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

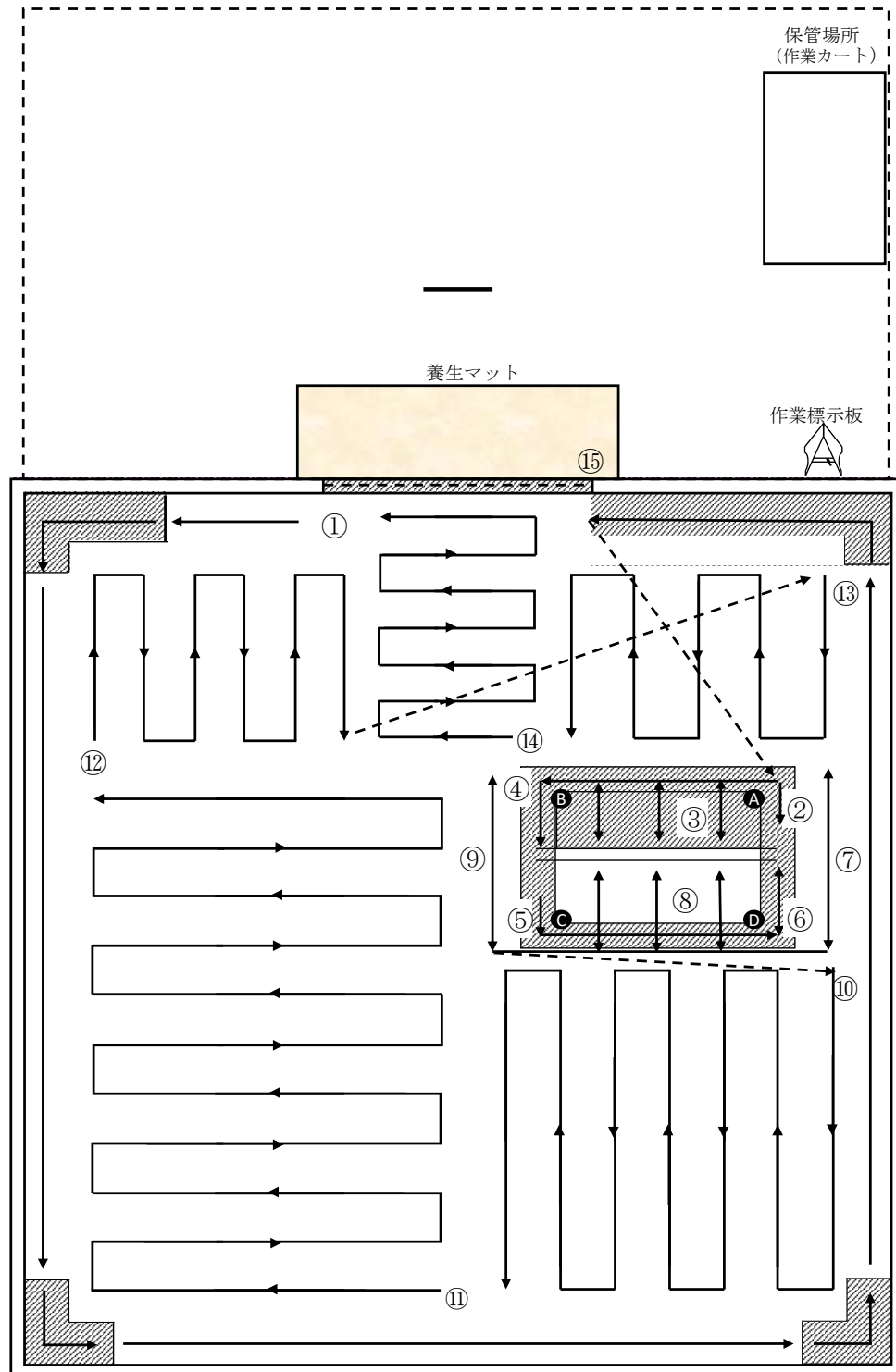
ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

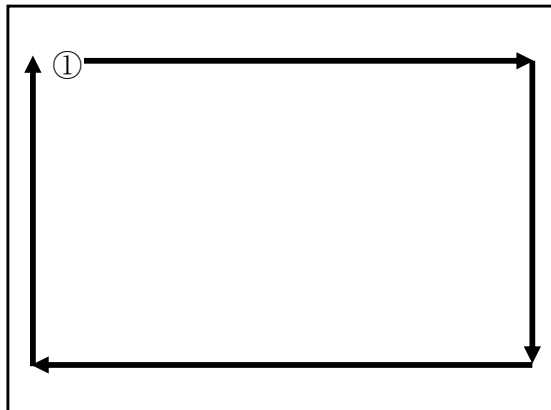
水拭きモップ作業手順



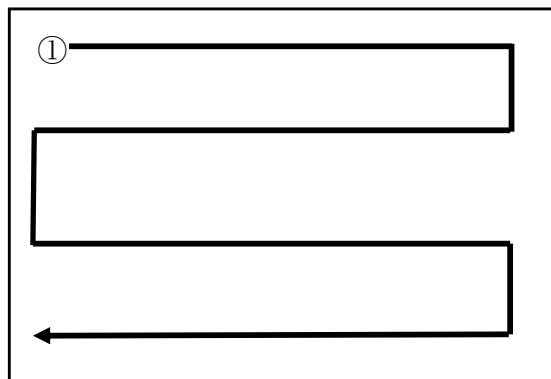
注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ①巾木側を1周すること。（コーナーは手を添えます）
- ②Aの足回りを手を添えて拭く
- ③机の下を手を添えて拭く
- ④～⑥B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑦机の脇（壁側）を拭く
- ⑧机の下を手を添えずに拭く
- ⑨机の脇（入口側）を拭く
- ⑩～⑭スパンを決めて拭く
- ⑮入口を手を添えて拭く

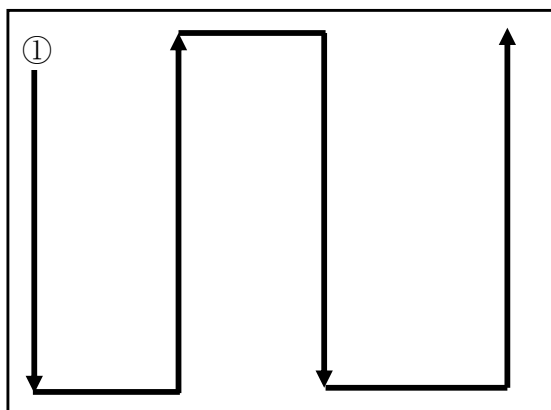
机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。
また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。